

職 種	教授（女性限定）
募集人数	1名
所属および勤務場所	所属：京都大学 応用生物学系 京都大学大学院農学研究科 応用生物科学専攻 海洋生物科学講座 海洋生物増殖学分野 （学部では京都大学農学部資源生物科学科に属する） 勤務地：京都市左京区北白川追分町 （変更の範囲）大学が在宅勤務を許可又は命じた場合は自宅等
職務内容	1) 専門分野：海洋生物増殖学 2) 担当講義・実験・実習科目（一部の講義名は変更可） （1）大学院：海洋資源生物学演習、海洋資源生物学専攻実験等 （2）学 部：海洋生物資源学演習、海洋生物科学実験及び実験法Ⅰ・Ⅱ、資源生物科学概論B、 海洋資源生物学基礎、海洋生物科学、海洋生物科学外書講義、海洋生物生態学等 （変更の範囲）京都大学の業務（教育・研究・運営）
応募資格等	博士の学位を有すること。 女性であること。 魚類を中心とした海洋生物増殖学分野における基礎研究とその成果に基づく応用研究を推進することができ、国際的水準の優れた研究業績を有する方。先進的研究を行い、当該研究分野を先導できる方。大学院生と学部学生の教育・研究指導を日本語および英語により遂行する能力と意欲を有する方。学内業務に意欲かつ誠意をもって取り組むことができる方。
採用予定時期	令和9年4月1日
任期	なし
試用期間	あり（6か月）
勤務形態	専門業務型裁量労働制（週38時間45分相当、1日7時間45分相当） ・専門業務型裁量労働制を適用しない場合は、週5日8:30～17:15勤務（休憩12:00～13:00） ・超過勤務を命じる場合あり 休日：土・日曜日、祝日、年末年始、創立記念日
給与・手当等	本学支給基準に基づき支給
社会保険	文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険および労災保険に加入
応募書類および提出先等	以下の提出書類について、紙媒体1セットと電子媒体（書類を1つのpdfファイルにまとめ、ファイル名をCVとし、USBメモリあるいはCDに書き込んだもの）1つを提出すること。 <b>【提出書類】</b> 1) 履歴書：連絡先（e-mailアドレスを含む）、学歴（高等学校卒業以降）、職歴、学会および社会活動、賞罰、所属学会を明記、写真添付 2) 研究業績リスト：原著論文、著書、総説、その他に分類したもの。原著論文はレフリー制学術雑誌に掲載されたもののみを記載すること。応募者の名前の下に下線を入れること。 3) 主要原著論文、著書あるいは総説の別刷り（計10編、コピー可） 4) 研究業績の要約：2000字以内 5) 着任後の研究に関する抱負：2000字以内 6) 着任後の教育に関する抱負：1000字以内 7) 科研費補助金等競争的外部研究資金等の取得状況：代表・分担等の区別を記載すること 8) 応募者について照会できる2名の方の氏名と連絡先 *「海洋生物増殖学分野教授応募書類在中」と朱書きの上、簡易書留またはレターパックプラスで郵送してください。応募書類は返却いたしません。 *応募書類受領後、1週間以内に連絡先e-mailに書類受領の連絡を行います。連絡がない場合は、

	問い合わせ先までご連絡ください。
応募締め切り	令和8年6月30日(火) 必着
選考方法	書類選考。必要に応じて面接を実施します。なお、その場合の旅費は応募者の負担となります。面接の詳細は応募者に別途連絡します。令和8年11月末までに選考の結果をe-mail等で通知します。
応募書類提出先・問い合わせ先	〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学大学院農学研究科応用生物科学専攻 海洋生物増殖学分野教員選考委員会 三田村 啓理 宛 e-mail: mitamura.hiromichi.2x*kyoto-u.ac.jp (*は@に変えてください) TEL: 075-753-6215
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提出して頂いた書類は、当該選考のみに使用します。正当な理由なく第三者への開示、譲渡および貸与することは一切ありません。</li> <li>・ この公募は、京都大学における男女共同参画推進施策の一環として、「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律（男女雇用機会均等法）」第8条の規定に基づき、女性に限定して実施するものです。</li> <li>・ 京都大学は男女共同参画を推進しています。出産・育児期間中の業績については休業期間の前後と等しい業績を上げたものとみなします。履歴書等に育児等のための休業期間を記載できます。出産・育児・介護等に従事した期間について考慮することを希望する場合は、履歴書の備考欄に付記してください。</li> <li>・ 京都大学では、すべてのキャンパスにおいて、屋内での喫煙を禁止し、屋外では、喫煙場所に指定された場所を除き、喫煙を禁止する等、受動喫煙の防止を図っています。</li> </ul>